

学外研修報告(農業機械士養成研修・けん引)

フィールド科学系部門 生物生産技術班

北村 亜紀

1. はじめに (目的等)

西条ステーション(農場)では、トレーラーやマニユアスプレッダー、ロールベアラーをトラクターによってけん引することで飼料作物の収穫や家畜管理の除糞作業など行なっている。今後、これらの業務にあたるためにけん引免許が必要となるため、広島県立農業技術大学校で行われている農業機械士養成研修を受講し、けん引免許(農耕車限定)試験を受験した。

2. 期間・場所

期間 : 令和3年9月7日～9月10日、9月13日～9月15日

場所 : 広島県立農業技術大学校、広島県自動車運転免許三次試験場

3. 参加者等

農業技術大学校学生、その他一般 計14名

4. 研修内容

1日目 オリエンテーション・技能講習(トレーラーけん引の基本運転法)

2日目～6日目 技能講習(トレーラーけん引の基本運転法)

7日目 免許試験

5. まとめと感想

技能講習ではトレーラーけん引の基本的な運転技術・道路交通法に則した走行方法を学んだ。特に内輪差による接輪・脱輪の可能性を考え走行に注意を払わねばならず、実際トレーラーに荷を積んだ状態では事故や機械故障につながる可能性があると感じ、安全に走行できるよう練習を重ねた。

研修では数台のトラクターで練習を行ったが、機械によって操作の注意ポイントがそれぞれ異なることを感じた。実際業務で使用するトラクターの運転技術を習得するためにも今後も練習を重ね、安全に業務に従事していきたい。